

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式

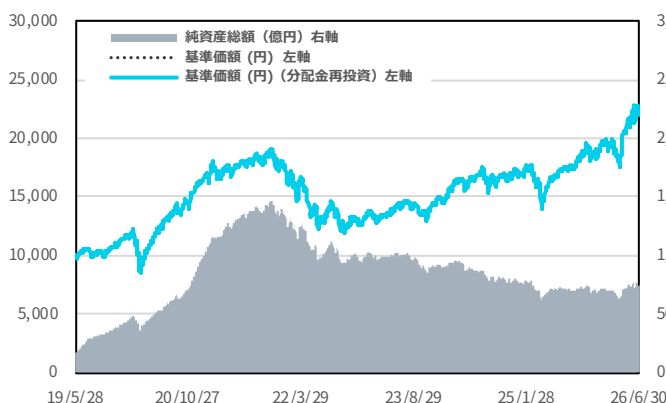


当ファンドの
特設サイトは
こちらから

「ティー・ロウ・プライス」の
Webサイトへ移動します

■Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）

運用実績の推移



基準価額	22,305円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	747.7億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、9月の各15日(休業日の場合は翌営業日)		

騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.75	27.01	17.67	29.10	56.56	123.05

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1 0期 '24/3/15	第1 1期 '24/9/17	第1 2期 '25/3/17	第1 3期 '25/9/16	第1 4期 '26/3/16	累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

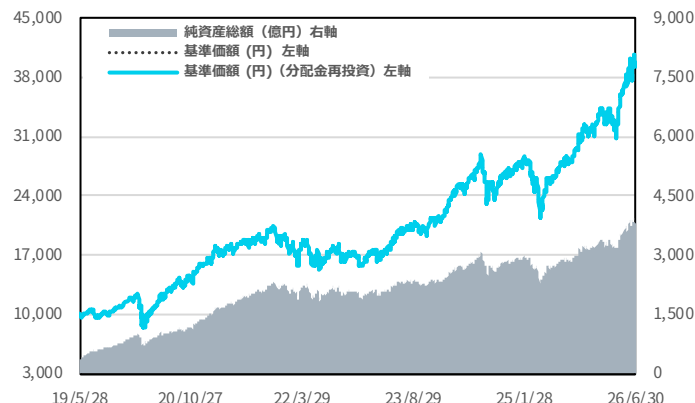
※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

運用実績の推移



基準価額	39,885円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	3,871.3億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、9月の各15日(休業日の場合は翌営業日)		

騰落率（%）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.16	29.16	22.37	46.60	98.48	298.85

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第1 0期 '24/3/15	第1 1期 '24/9/17	第1 2期 '25/3/17	第1 3期 '25/9/16	第1 4期 '26/3/16	累計
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものとして計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

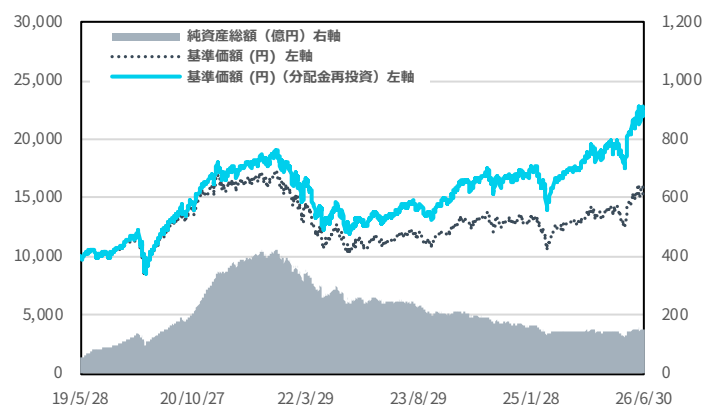
追加型投信／内外／株式



■Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）

基準価額	15,571円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	149.3億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、6月、9月、12月の各15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（％）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.75	27.02	17.77	29.30	56.33	123.07

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第24期 '25/6/16	第25期 '25/9/16	第26期 '25/12/15	第27期 '26/3/16	第28期 '26/6/15	累計
分配金	190円	200円	200円	200円	230円	4,770円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

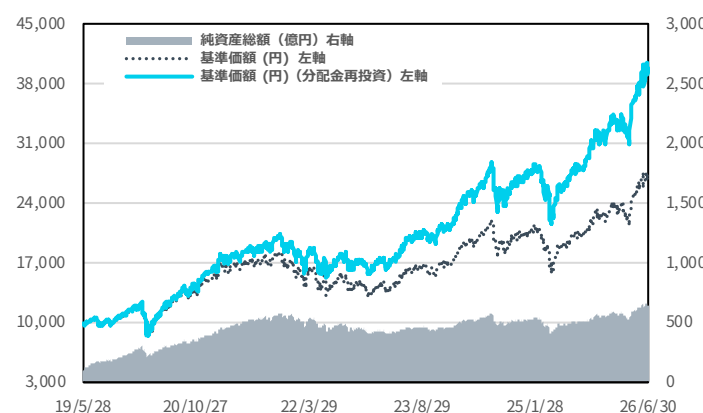
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

■Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

基準価額	27,082円	設定日	2019年5月28日
純資産総額	650.2億円	信託期間	原則として無期限
決算日	毎年、3月、6月、9月、12月の各15日（休業日の場合は翌営業日）		

運用実績の推移



騰落率（％）

期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.15	29.14	22.35	46.53	98.36	298.33

分配金実績（1万口当たり、税引き前）

	第24期 '25/6/16	第25期 '25/9/16	第26期 '25/12/15	第27期 '26/3/16	第28期 '26/6/15	累計
分配金	290円	310円	340円	340円	400円	6,660円

※基準価額は1万口当たりとなっています。

※基準価額および基準価額（分配金再投資）は信託報酬（後記の「ファンドの費用」参照）控除後のものです。

※基準価額（分配金再投資）および騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。

※運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）
Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式



ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンドの状況

■資産配分		■国・地域別配分(上位10カ国)		■セクター配分	
株式等	98.59%	国・地域	構成比	セクター	構成比
現金他	1.41%	米国	56.07%	情報技術	48.72%
合計	100.00%	日本	8.32%	資本財・サービス	12.88%
		台湾	6.64%	ヘルスケア	7.99%
		オランダ	4.86%	金融	7.73%
		韓国	4.13%	一般消費財・サービス	7.14%
		英国	3.85%	コミュニケーション・サービス	3.80%
		イタリア	3.23%	エネルギー	3.40%
		フランス	2.73%	素材	2.94%
		ドイツ	2.06%	生活必需品	2.09%
		カナダ	1.81%	公益事業	1.90%
		その他8カ国計	4.89%	不動産	0.00%
		現金他	1.41%	現金他	1.41%
		合計（18カ国）	100.00%	合計	100.00%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。
※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※現金他には、キャッシュのほか未収・未払金等を含んでおり、マイナスとなる場合もあります。

■組入上位10銘柄					(組入銘柄数：102銘柄)
	銘柄名	セクター	通貨	国・地域	構成比
1	エヌビディア	情報技術	米ドル	米国	5.42%
2	台湾セミコンダクター	情報技術	台湾ドル	台湾	3.34%
3	アルファベット	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	2.92%
4	アップル	情報技術	米ドル	米国	2.68%
5	リンデ	素材	米ドル	米国	2.25%
6	ASMLホールディング	情報技術	ユーロ	オランダ	2.25%
7	サムスン電子	情報技術	韓国ウォン	韓国	2.21%
8	ユニリーバ	生活必需品	英ポンド	英国	2.09%
9	東京エレクトロン	情報技術	日本円	日本	2.07%
10	ユナイテッドヘルス・グループ	ヘルスケア	米ドル	米国	2.05%
				合計	27.26%

※構成比はすべてマザーファンドの対純資産総額の比率です。
※セクター配分は、世界産業分類基準（GICS）の分類にて区分しています。ティー・ロウ・プライスは、将来の報告についてGICSの更新があればそれに従います。GICSの情報は巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」をご確認ください。
※当該銘柄の売買を推奨するものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）

Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）

追加型投信／内外／株式



運用担当者のコメント

■市場概況

6月のグローバル株式市場（MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス）は、月中の値動きは大きかったものの、概ね横ばいとなりました。

月前半は、人工知能（AI）・半導体関連株の過熱感に加え、市場予想を上回る米雇用統計や根強いインフレを受けた米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ観測が嫌気され、テクノロジー株を中心に不安定な展開となりました。中旬以降は、米国とイランの停戦・和平協議進展を背景に原油価格が大幅に下落し、エネルギー価格上昇によるインフレや景気減速への懸念が和らいだことが支援材料となりました。一方で、連邦公開市場委員会（FOMC）で示された政策金利見通しがタカ派的と受け止められたことに加え、AI関連株の高い株価水準への警戒もあり、高値圏での変動が続き、月間では横ばい圏にとどまりました。地域別では欧州先進国が相対的に堅調だった一方、先進国アジアや新興国はまちまちの動きとなりました。欧州中央銀行（ECB）や日銀の利上げは概ね市場予想通りで、市場の反応は限定的でした。

業種（世界産業分類基準に基づく11セクター）別の騰落率では、「ヘルスケア」、「金融」、「資本財・サービス」が上昇をけん引した一方、「コミュニケーション・サービス」、「素材」、「エネルギー」などが下落しました。

* 上記はすべてMSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（税引前配当込み、現地通貨ベース）

■運用概況

6月のファンドの騰落率（分配金再投資）は、Aコースは+0.75%、Bコースは+2.16%、Cコースは+0.75%、Dコースは+2.15%でした。

組入銘柄では、半導体製造装置大手の東京エレクトロンや、半導体検査・測定装置大手のKLA、半導体製造装置メーカーのASMLホールディングなど、データセンター構築を支える供給側の銘柄の組み入れがプラス寄与の上位を占めました。AI関連需要を背景に半導体メーカーによる設備投資が活発化し、受注拡大期待が高まったことなどから株価が上昇しました。

一方、半導体およびソフトウェアの設計・開発会社のブロードコムは、好調な2-4月期決算を発表したものの、5-7月期売上高見通しが投資家の高い期待に届かなかったことなどから株価が大幅に下落しました。当運用では、同社の特定用途向け集積回路やAIネットワーキング技術、AI開発会社オープンAIとの提携を背景とした中長期の利益成長力を評価しています。電源および熱管理ソリューションの大手プロバイダーであるデルタ・エレクトロニクスは、ここ数カ月で大きく上昇していたAI関連銘柄からの資金シフトを背景に、株価が下落しました。当運用では、高効率なAIデータセンターに不可欠なサーバー向け電源ユニットで高い競争力を有する同社が、データセンターの電力需要拡大を背景に、中長期的な成長機会を捉えたとみています。

■今後の見通し

当運用では、AI関連投資は単なるソフトウェアサイクルではなく、計算資源、半導体、ネットワーク、電力インフラなどへの大規模投資を伴う巨大な設備投資サイクルと捉えています。AIインフラ分野を引き続きグローバル株式の重要な収益改善の源泉とみており、なかでもAI関連の追加投資が、どの領域で魅力的な収益を生むかに着目しています。

ハイパースケーラーはAI関連設備投資によりフリーキャッシュフローや資本収益性に圧力を受ける一方、メモリ、半導体製造装置、光通信、ネットワーク、電力や電気インフラなどのボトルネック領域（供給制約が強い分野）では、強い価格決定力や受注残の拡大を通じた収益改善が期待されるとみています。ポートフォリオでは、AIインフラの投資サイクルに応じ、ポジションを機動的に調整することを考えています。また、ヘルスケア、資本財・サービス、公益事業、エネルギー、金融など、AIとは異なる収益源を持つオリエティ企業も組み入れることで、AI関連リスクのバランスやポートフォリオ全体の分散を意識した構成を維持しています。

このようにAIインフラ投資サイクルにはなお相応の継続余地があるとみていますが、その持続性や市場の織り込みについては慎重に見極める必要があると考えています。追加的な投資がAIモデル改善やAI用途、利用拡大につながらなくなる可能性をリスクとして注視している他、エネルギー価格の上昇を背景としたインフレショックや金利の再上昇リスクに加え、市場全体でAI関連銘柄への資金流入が過度に集中することで、銘柄間の相関上昇や株価トレンドに変化が生じるリスクにも留意しています。当運用では、引き続き、環境変化に柔軟に対応しつつ、投資フレームワークは維持し、高い確信度を有する銘柄でポートフォリオを構成することで、ボラティリティ上昇局面への対応を図ります。今後も成長機会を追求し、「収益改善」「ハイクオリティ」「バリュエーション」の観点から、規律あるファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより投資対象を厳選します。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）
Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式



ファンドの特色

1

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界各国の株式（エマージング・マーケット*も含みます。）の中で、成長性が高いと判断される企業の株式を中心に投資を行います。

※ エマージング・マーケットとは、経済の発展段階にある国や地域の市場を指し、新興国市場とも呼ばれます。

2

銘柄選択に関しては、個別企業分析に基づく「ボトム・アップ・アプローチ*1」を重視した運用を行います。個別企業分析にあたっては、ティー・ロウ・プライス*2のアナリストによる独自の企業調査情報を活用します。

*1 ボトム・アップ・アプローチとは、アナリストの個別企業に対する調査や分析等に基づきその企業の投資価値を判断し、個別銘柄を選択する運用手法です。

*2 委託会社およびその関連会社をいいます。

3

Aコース／Cコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジ（主要国通貨による代替ヘッジを含みます。）を行い、為替変動リスクの低減を図ります。

Bコース／Dコースは、実質外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

4

決算頻度と為替ヘッジの有無の異なる4つのコースからお選びいただけます。

※市場動向、資金動向、信託財産の規模等により、上記1～3のような運用ができない場合があります。

※上記は当ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドの特色を含みます。

※販売会社によっては、いずれかのコースのみ取扱う場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。当ファンドが有する主なリスク（ファンドの主たる投資対象であるマザーファンドが有するリスクを含みます。）は以下の通りです。

株価変動リスク

当ファンドは、世界の株式を主要な投資対象としますので、その基準価額は、株式（米国預託証券（ADR）、欧州預託証券（EDR）、グローバル預託証券（GDR）等を含みます。）の値動きにより、大きく変動することがあります。株価は、発行企業の業績、市場での需給関係、政治・経済・社会情勢等の影響を受けて、ときには大きく変動します。発行企業が経営不安や倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。また、当ファンドは中小型株に投資することがありますが、時価総額が小さい企業の株式は、大規模企業の株式よりも価格の変動が大きくなる場合があります。

為替変動リスク

AコースおよびCコースは、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、主要国通貨を用いた代替ヘッジを行う場合がありますが、通貨間の値動きが異なるため、十分な為替ヘッジ効果が得られないことがあります。また、為替ヘッジを行う際は、通貨間の金利差相当分のヘッジコストがかかる場合があり、ファンドの基準価額に影響します。BコースおよびDコースは、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。したがって、為替相場が円高方向に進んだ場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、為替相場は大きく変動する場合があります。

エマージング・マーケット・リスク

当ファンドは、エマージング・マーケット（新興国市場）の株式も投資対象としています。エマージング・マーケットは先進国と比較して市場が成熟していないため、流動性が低く、価格の変動性も大きいことから、価格変動リスクが高くなる傾向にあります。また新興国は先進国と比較すると政情が不安定な国や地域が多く、投資対象国・地域における政治体制の変更、法令の変更、経済情勢の変化等の影響が市場におよぶリスクが高くなります。これらのリスクにより、基準価額が下落したり、運用方針に沿った運用が困難となる場合があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建て資産には為替変動リスクもあります）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

巻末の「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずお読みください。

ティー・ロウ・プライス 世界厳選成長株式ファンド

Aコース（資産成長型・為替ヘッジあり）／Bコース（資産成長型・為替ヘッジなし）
Cコース（分配重視型・為替ヘッジあり）／Dコース（分配重視型・為替ヘッジなし）
追加型投信／内外／株式



収益分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。

当資料のご利用にあたっての注意事項

当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

投資信託は、値動きのある有価証券等を対象としているため、投資元本を割り込み損失が生じることがあります。ご購入の際は販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）を必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。

投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。当資料に記載の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。個別銘柄につき、売買を推奨するものではありません。

当資料内で表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。

当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。

著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（troweprice.com/ip参照）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。ティー・ロウ・プライスと商標所有者との承認、出資、提携を示唆するものではありません。

当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。

世界産業分類基準（「GICS」）は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル（「MSCI」）およびマグロウヒル・カンパニー傘下のスタンダード・アンド・プアーズ（「S&P」）が開発した独占的財産およびサービスマークであり、ティー・ロウ・プライスにライセンス供与されています。MSCI、S&PまたはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれも、当該基準や分類（またはその利用から得られた結果）について明示的にも暗示的にもいかなる保証や表明もしません。また、すべての関係当事者は、当該基準や分類のいずれについても、その独創性、正確性、網羅性、商品性または特定の目的適合性について、いかなる保証からも明示的に免責されます。前述の内容を制限することなく、MSCI、S&P、その関連会社またはGICSの作成、編集もしくはGICS分類に関与する第三者はいずれの場合も、直接的、間接的、特別、懲罰的、結果的またはその他のいかなる損害（逸失利益を含む）について、その発生可能性が通知されていたとしても、いかなる責任も負いません。

委託会社、その他関係法人

【販売会社一覧】お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

商号等			加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第649号	○	○	○	

※野村證券株式会社は、一般社団法人日本STO協会に加入しています。

※三井住友信託銀行株式会社は、Bコースのみのお取扱いです。

受託会社：野村信託銀行株式会社

委託会社：



T.RowePrice

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第3043号

加入協会：一般社団法人資産運用業協会／

一般社団法人第二種金融商品取引業協会